



2P) 南庭との繋がりを重視し、広間には木製のL型窓を配置。開放的な大きな開口部だが板塀が道からの視線を遮り、プライバシーのある空間になっている。また、広間の他に小上がりのある和室を配置した。襖で仕切ることが出来るが、開放して広間と一体的な空間としても利用出来る。

3P左) 北庭に面したピクチャーウィンドー。敷地の北側は学校のグラウンドのため、一年を通して安定した光が約束されている。光が入ることで吹き抜け壁に設けた鏡壁に陰影が生まれ、季節や時間で変化を楽しんでいる。

3P上) L型窓をキッチンから眺める。キッチンは少し奥まった位置に配置されているがこの窓のおかげで十分な明るさを確保することが出来ている。

## 新しい暮らしの場所

Tさんご家族の暮らしていたアパートは駅から近く便利な上、近くの山並みが窓から綺麗に見え、仕事の面からも環境的にも気に入った場所でした。新しい住まいも近くで良い土地があれば…と探していましたが、様々な条件を当てはめていくと現実的には難しい面もあり、視野を広げて色々な土地を探していききました。良さそうな土地が見つかるかと声を掛けてくれ、周辺の環境や土地の諸条件などを調べてTさんと共に検討していき、最終的には敷地の北面に中学校のグラウンドが接している43坪程の土地を選びました。今住んでいる地域からは離れるけれど、周辺の環境も良く最寄り駅までも徒歩圏内。何と言っても北側にグラウンドがあるので南北の通風が期待出来、北窓からの採光や眺望も良さそうということで満場一致。早速敷地に合わせてプランニングをスタートしていききました。



# 豊かな感性を 育てる暮らし



## 完成現場報告

### 焼津市／『ツキの家』

文・写真／コロボ 山崎健治

家づくりのきっかけは人それぞれだと思いますが、結婚を機にアパートやマンションに暮らし、お子さんの成長に合わせて家づくりを考えはじめる方も多いと思います。小さな時は広く感じた住まいも成長と共に少し窮屈になり、子供の机はどこに置こうか？ 増えていく洋服は？ 教科書や本は？ 独立した部屋もいずれば考えなくてはいけないなど…。今回ご紹介する『ツキの家』のTさんご夫婦もSちゃんの成長を考え、なるべく早い段階で自分たちの落ち着く住まいを持ちたいと考えていました。私がTさんご夫婦と知り合った頃はまだSちゃんは抱っこやおんぶの頃で、今すぐに家づくりとはいかないけど、自分たちの感性に合った家を見つけておきたいと、すでに家づくりをスタートさせていました。Sちゃんを連れて何度か完成見学会に参加していただいたり、工場や事務所を見ていただきながら家づくりの話をしていく中で、Tさんの気持ちや考え方がだんだんと決まり、具体的な家づくりへと進んでいきました。





吹き抜けを2階ホールから見る。漆喰の鎧壁は高さ5mの一枚の壁で、波紋が広がるように下から上にだんだんと幅を変えて仕上げられている。2階上部の方杖や大火打材もこの空間のアクセントとなっている。



ピクチャーウィンドーを外から見上げる。室内から空が見えるようにあえて軒をつくらず納めている。FIXや木製建具まわりは板金の納まりを検討し、雨仕舞の良いつくりになっている。



内部から空を綺麗に見上げることが出来る。取材日も良く晴れた空で、Sちゃんが「飛行機が見えるよ」と教えてくれた。



上) 自転車置き場も兼ねた少し大きめの玄関ポーチ。アプローチの入り口には漆喰で塗り回したR壁をつくり、シャープさの中に優しさのある外観をつくった。

下) 南庭の内部から三角ペランダを眺める。L型窓に合わせ、2階にはウッドデッキ式の三角ペランダを設けた。手摺壁として横格子をつくり、外からの視線を遮りつつ通風を確保している。



スッキリとした屋根形状とガルバリウム鋼板の黒と漆喰の白がモダンな雰囲気を出し、板塀やペランダ格子の木部がアクセントになっている。要望と敷地形状を重ねて検討し、43坪の敷地に2台の駐車スペースを設け、南と北に庭を設けることができた。

## 心地よいスペースを生み出すプラン

『ツキの家』は1階18坪、2階14.5坪、述べ床面積32.5坪のお宅です。43坪の敷地に2台分の駐車スペースを確保し、南と北に植栽を楽しむ中庭を設けました。南道路で南北にやや長方形の敷地形状の中に計画する場合、道路側に駐車場を設けてその奥に建物を配置するケースが多いと思いますが、その場合、玄関までのアプローチと駐車場で南側のスペースが埋まってしまい、庭を確保することが難しくなります。今回は玄関を道路の近くまで張り出す事でアプローチの面積を少なくし、その分のスペースを中庭として確保する事にしました。中庭を設ける事で、囲むように広間と和室を配置する事が出来、どちらの空間にも採光と通風が得られるプランをつくる事ができました。また、駐車場と中庭の境に2mの板塀を設け、プライバシーを確保するとともに、内庭として植栽を楽しむコアな空間をつくる事が出来ました。玄関と道路の間には自転車置き場としても利用できる2坪ほどの軒下空間をつくり、道路と玄関との緩衝スペースとなりました。そして、漆喰を使ってカーブを描き、優しい表情のあるエントランスは、この家の顔となるデザインになりました。

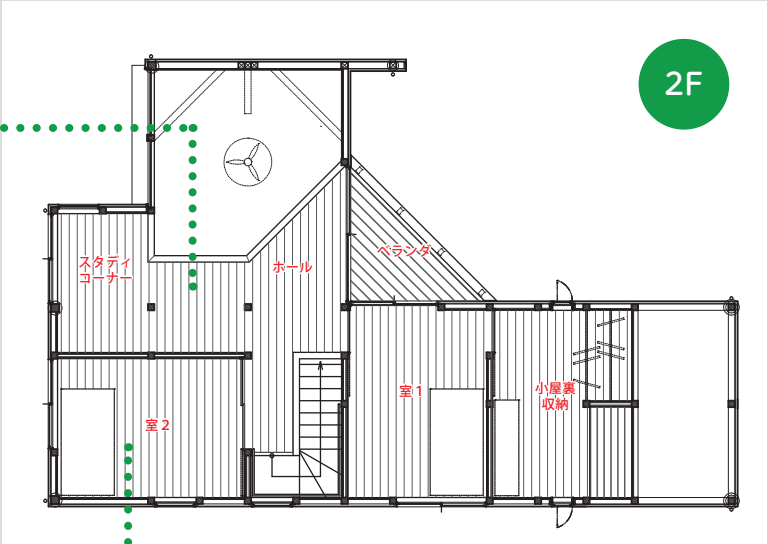
## 吹抜きの主役は職人技

敷地形状を活かし、広間の南と北に中庭をつくりました。南庭にはL型の引込み戸を設け、外と繋がる開放的なスペースを、北庭には空の見える縦に伸びたピクチャーウィンドーを設けました。どちらの庭もそこに繋がる開口部のデザインが大切と考え、木製のガラス引込み戸や、柱や梁を利用したFIXガラス窓をつくりました。大きな吹抜けと大きな窓が特徴の広間ですが、この空間の主役は吹抜きの一面に塗られた漆喰の壁。幅2間、高さ5mの壁には漆喰を鎧状に仕上げています。大きな塗り壁はクラックが入りやすいため通常は梁や柱で区切りますが、今回は鎧状のラインを入れる事でクラック防止の役割をしています。口この壁を仕上げるには職人の技量と経験が必要！お世話になっている山脇左官さんに相談し、サンプルをつくりながら鎧の厚みや幅を検討していきました。最終的にはご夫婦がダイビングを趣味にしている事から鎧を波に見立て、波紋が広がるように下から上にだんだんと幅を変えて鎧塗りを仕上げました。鎧のエッジが北窓からの光で陰影をつくり、天気や時間でも表情が変わります。職人の技術に支えられ、この空間の核となる凜とした壁が出来上がり、また一つ良い経験をさせていただけたと嬉しく思っています。





2階ホール：2階のホールは室内干しのスペースとしても利用している。三角ペランダを通して窓から涼しい風が通り抜け、洗濯物も良く乾くそう。



2F平面図



子供室：屋根形状をそのまま現した勾配天井の子供室。個室にしてしまうのではなく、2枚の引込み建具を設けて広々使える工夫もしている。



洗面化粧台：脱衣室と洗面室を分けて配置し、洗面化粧台はトイレと合わせてドレسلーム的な使い方になっている。

仕様内容	
家族構成	家族3人
敷地面積	142.17㎡
建築面積	72.73㎡
延べ床面積	107.65㎡
構法	落とし込み板壁工法
屋根	ガルバリウム鋼板 タテハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板 角波縦貼り 一部漆喰コテ押え
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、ヒバ ペアガラス、アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉板本実張り 厚30mm
壁	青森ヒバPJ本実板張り 厚15mm 杉落とし込み板現し、漆喰塗り
床	山桜本実乱張 厚15mm
内部建具	オリジナル木製建具
キッチン	ステンレスヘアーライン天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	TOTO 人工大理石天板オリジナル洗面化粧台
浴室	日比野化学工業 ハーフユニットバス
設計者	山崎健治
施工	有限会社ころ木造建築研究所
竣工	平成27年7月

## アイデアを形に。 みんなで家づくり

今回のTさんとの家づくりは、まだ土地も決まっていない段階からのスタートでした。見学会などでお会いするたびに色々なお話を重ね、Tさんの好みや家に対する考えを知り、また設計者としての考えや大切にしている部分を受け入れていただき、具体的な家づくりの打ち合わせがはじまってからもとても楽しい時間でした。プランニングからはじまり素材や細部のデザインなど、実績のあるオリジナル仕様を基本としながらも新しいアイデアも必要になります。今回も吹き抜けの鍍塗りをはじめ、エントランスのカーブや三角ペランダ、また、奥さんのアイデアからいただいたキッチンの引手形状など、設計者だけでなくみんながアイデアを出し合いながら打ち合わせを行いました。そして、アイデアを形にするためには職人の技術や経験が必要で、家づくりは一人ではなく多くの人の思いが込められていると改めて感じました。Tさんの家が完成してから約1年の月日が経過し、Sちゃんも会うたびに大きくなり、いつも元気な笑顔を見せてくれます。

たくさんのアイデアと思いの詰まったこの家で、確かなものを見る目と豊かな感性を育てていくって欲しいと思います。

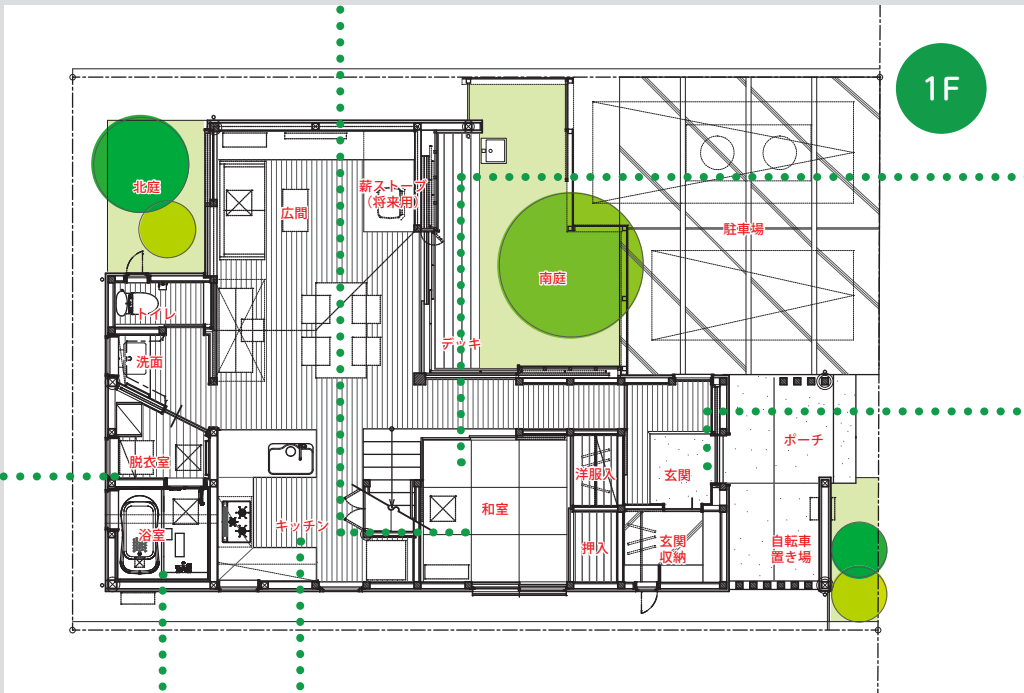
## 『ツキの家』の間取りと内部空間をご紹介します

住まいの設計の中で、敷地形状に合わせて全体の間取りを考えていく事はとても重要ですが、使いやすさや心地良さを細かく考えていく事も大切な設計要素。家族の個性がひとつにまとまり、我が家だけのカタチになっていきます。



和室：隣地からの視線と部屋の明るさを考慮して内障子付きの窓を高めに配置。障子を通して柔らかな光が部屋全体に行き渡り、優しい雰囲気の和室に。

和室引込み襖：和室と廊下はL型の引込み襖で仕切れるようにした。襖は天井までの高さとし、開放した時に広間と一体感を感じられるように配慮した。



1F平面図



玄関：家族で出かける時は、みんな一緒に靴の脱ぎ履きができるようにL型の玄関框とした。コロボ定番の葛布ガラスもいい感じ。



浴室：ハーフユニットバスの壁と天井に青森ヒバを貼った木の浴室。香りが良く心身共に安らぐお風呂に。

キッチン：シンク台、コンロ台、レンジ台の3つをひとつにまとめ、コの字型のキッチンを製作。コンパクトで作業動線も良く、収納力もあるキッチンになった。

